

平成 29 年度事業報告について

1. 特別養護老人ホームたくま荘増築改修工事について

特別養護老人ホームたくま荘増築改修工事については、平成 29 年 9 月 25 日に三豊市内 5 業者による指名競争入札を実施し、最安値だった富士・神詫特定建設工事共同企業体と平成 29 年 10 月 31 日に工事請負契約を締結した。

契約金額は税込で 5 3 1, 0 8 2, 4 4 0 円、工期は平成 29 年 11 月 1 日～平成 30 年 10 月 31 日である。

この工事費の一部には、三豊市地域介護・福祉空間整備等施設整備事業費補助金 5, 2 5 0 万円を充当する予定である。

5 月現在で工事工程 4 期のうち第 1 期工事が完了して仮使用を開始することになっている。事務所、介護職員の執務室、医務室、3 5 床のお部屋等が利用できるようになる。

また、改修工事の関係で、市道の一部をたくま荘が占有していることが判明し、市からその土地を買い取ることにした。場所は三豊市詫間町詫間字小岩原 7732 番 106、地目山林、面積 257 m²、購入金額は 3 3 4, 1 0 0 円であった。

次に、増築のため駐車場用地が不足するため近隣の畑を購入し、6 0 台余りが駐車できる駐車場を確保した。所在地は、三豊市詫間町詫間字小岩原 7053 番 73、地目畑、面積 1794 m²、契約金額は 5 0 0 万円であった。

またそれに伴う駐車場造成工事を行った。契約先は株式会社三宅工務店、契約金額は 8, 9 6 4, 0 0 0 円（税込）であった。

2. 給料表の見直し及び人事考課制度の改定について

平成 30 年度に介護報酬の改定は全体としては 0.5 4 % の増額改定であったが、デイサービスでは 2 % の減額改定となり、依然としてさまざまな加算部分を取り入れないと報酬の確保が難しい状況である。保険料と報酬の兼ね合いであるが今後は、報酬改定が増額になる可能性は極めて低いと考えなくてはいけない。

そこで現行の給料表を見直し、介護職員として働く意欲を持ち続けられる給与制度を構築する必要があり、今般給与規程の見直しを行った。

主には役割責任の明確化と人材育成を目指した人事考課制度の構築である。給与規程別表 (6) 職能別資格基準表で職能別の役割は規定されているが、年功序列的な運用になっていて、実際適材の職員の育成が不可欠となっている。

急激に変わりつつある介護保険制度に適用できる人材を育成する人事考課制度を構築することが急務であり、職員の能力が介護の能力に直接結びつき、それが施設の評価につながる

るものだから職員個々の能力をいかに高めるかが非常に重要である。そのための人事考課制度を導入することにした。

3. 部署別事業計画

特別養護老人ホームたくま荘

- (1) 年間入所率 97%を目標とする → 94.38% (28年度 96.77%)
- (2) 改修工事期間中の事故防止 → 現在まで利用者等の安全の確保に支障は出ていない。

地域密着型特別養護老人ホームおおはま荘

- (1) 年間入所率 95%以上 →94.83% (28年度 95.8%)
ショートステイ利用率 90% →89.0%
- (2) 利用者の方の「退屈な」という言葉を減らす。

たくま荘デイサービスセンター

- (1) 年間平均 26 名以上 (1日あたり) の利用者の確保
→27.79 人 (28年度 24.42 人)
- (2) サービス内容の充実 (手作り喫茶、絵画教室等)

大浜デイサービスセンター

- (1) 年間平均 20 名以上 (1日あたり) の利用者の確保
→20.98 人 (28年度 20.47 人)
- (2) 挨拶の徹底

ケアハウスたくま

年間利用者数平均 47.8 人 (28年度 49 人)

- (1) 入居者の体調管理の徹底
- (2) レクリエーションの充実

居宅介護支援事業所たくま荘

ケアプラン作成者数 2252 人 (28年度 2215 人)

- (1) 新規利用者の受け入れを増やす

訪問介護ステーション

ヘルパー利用者 2984 人 (28年度 2438 人)

- (1) 利用者の危険予知に強める

4. 介護職員の能力向上について

介護職員の能力向上を目指して部署ごとに計画した研修計画に基づき月 1 回の職場研修を実施した。

また全体研修として次の研修を実施した。

- 4月「個人の尊厳とは？」志度玉浦園 赤木真二先生
- 6月「法令遵守・福祉専門職としての職業倫理」志度玉浦園 赤木真二先生
- 9月「介護現場におけるリスクマネジメント」志度玉浦園 赤木真二先生
- 11月「メンタルヘルス講座」ヘルスカウンセラー濱崎加奈子先生
- 12月「利用者家族さんとのかかわり方」川崎医療短期大学 辻真美先生
- 3月 「事故予防研修、移乗・移動介助」四国学院専門学校 小林先生